

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	上尾市立かわらぶき保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	木暮 恵津子	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 362-0022 埼玉県上尾市大字瓦葺 2 2 4 8 番地	TEL	048-721-5858

③評価実施期間

令和4年5月31日（契約日）～令和5年3月28日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもの日常保育の姿が玄関および保育室の入り口に掲示された情報発信で可視化されています。

玄関から子どもたちの作品や小動物の姿が見られます。子どもがどのような生活をし、何に対して興味関心をもっているのかが視覚的に分かるよう工夫されています。子どもたちが今この季節では何に興味関心があるのか、少し前の季節ではどうであったのかなども季節ごとの子どもの姿が掲示で紹介されており、保護者は見て理解することができます。また、各クラスの入り口にも同様に子どもの姿を紹介する掲示があります。特に、今年度はこの可視化により、保護者に対して子どもの姿と保育内容の情報発信が充実しています。

2. 周りの自然や生き物との触れ合いを通じて子どもの豊かな感性を育てています。

周りを自然に囲まれた保育所で、子どもたちはこの自然を満喫し、さらに生物や科学的な視点をもって、知育と共に豊かな感性を育てています。樹々の周りや葉の陰から小動物の姿を発見し、自然との触れ合いが子どもにとって良い刺激になっています。また、小動物の飼育を行っており、飼育することにより、えさやりや水槽の掃除など、生物の世話を体験します。飼育するだけでなく、生物を自然返すことも体験し、小動物との触れ合いは愛着関係を育むとともに、自然との共生への理解を深めています。

3. 全体的な計画の見直しによる職員の保育所運営の参画

今回の調査において、市の方針や事業計画等を受け、公立保育所としての実施事項を掲げ取り組みを行っていることを確認してきました。保護者にはもちろんのこと、職員室への掲示や職員会議での読み合わせ等職員への周知も行っています。また、年度末の全体的な計画を見直す際には、全職員に現行の全体的な計画を配布し、見直しが必要な箇所は職員から声が挙がるようにしています。今回の調査時の職員への声においても、事業計画を理解しているとの回答が約7割となっており、職員の事業計画への理解度の高さが伺えました。加えて、コロナ禍の中で事業計画に基づき数多く取り組み、保育環境を作り出していました。

◇特にコメントを要する点

1. 保育や行事実施後に行っている振り返りと次回の計画との連動が望まれます。

保育所では、市が定める市政の運営指針や子育て支援事業計画を踏まえた、当保育所の事業計画を策定しています。職員への周知にも努め保育所運営を一体となり行っています。定期的に進捗状況を会議で確認し、振り返りも行っています。保護者との日ごろのコミュニケーションにより意見を集計し、今後の課題も抽出しています。しかし、これらの所内外で集められた課題が認識するにとどまっていることが散見されました。今回の評価時の保護者アンケートの一部にも意見が反映されていないと取れる意見が寄せられていました。緊急性や重要性のあるものは即座に対応していますが、次の計画に反映されている事柄を確認することが出来ませんでした。取り組み後の会議やアンケート等を実施し課題を抽出していることは今回の調査時にも確認出来ています。それを次回の計画に加えたり、これまでの計画を見直したりすることが望まれます。市の方針や市内公立保育所との整合性ではなく、個別課題に応じた計画へと反映させていくことが待たれます。

2. 地域とのつながりの創出が期待されます。

上尾市所長会や保育課からの情報提供により、地域の情報を取得しています。また、幼稚園・保育園・小学校の連携を目的として会議体を設けています。連絡会を実施予定でしたが新型コロナを理由に中止し、電話にて連携内容を確認しています。しかし、地域の関係機関や施設との連携に課題が見られます。子どもたちが卒園したら、そこで関係性が終わるという訳ではなく、その後も切れ目のない支援をしていくためにも、地域との連携や交流は必要です。地域社会との積極的な交流や保育に関する情報の発信など、地域との密な連携を図ることも重要です。子どもの生活がより充実したものとなるよう、地域との繋がりを創出していく活動が期待されます。

3. 保育所が描く職員のキャリアパスの浸透が待たれます。

保育所では、市が定める子育て支援計画に沿って保育の全体計画や行事計画そして、職員の研修計画などを立案しています。また人事評価における仕組みとして年数回の面談を設定おり、職員の目標到達の度合いの確認や意欲向上を図っています。育成の為の研修メニューや部会組織による研究等もより良くなるよう見直しを繰り返しています。また、上尾市の保育士に求められる能力や行動を記載した保育士版標準職務遂行能力表を定めて、職員に対し求められる能力を面談等で説明しています。保育士版標準職務遂行能力表は職員に共有されているものの、作成したばかりということもあり、職員への浸透には至っていません。求められる能力等をキャリアパスとして示すことによって、保育士が自身のスキルアップや成長に向けた目標を持ち、仕事に取り組む姿勢の向上に繋がります。今後は、保育士版標準職務遂行能力表をコンパクトにまとめて職員に共有するなど、キャリアパスとしての活用の幅を広げることが期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けて、保育所全般を見直す機会となりました。アンケート結果から保護者様の満足度が高い数値であったことは職員一同、今後の保育所運営に大きな励みとなりました。良いところは更に伸ばし、改善すべきところは園全体で共有し、質の向上につなげていきたいと思えます。今回の結果から見えてきた課題として、地域との密な連携や、保護者の皆様からのご意見、ご要望に対する改善点をわかりやすく伝えられるよう保育所からの配信方法を工夫してコミュニケーションを図っていききたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり